



Next Kankyō Consultants

NKC 通信 vol.13

ネクスト環境コンサルタント株式会社

TEL 0238-29-0025

FAX 0238-29-0015

平成 30 年 5 月 10 日 発行

New!

平成 30 年度 ネクスト環境に新しい仲間が加わりました！！

◎ 今年度、新たに心強い仲間が 2 人加わりました。2 人のことを Q & A 形式で紹介します。

質 Q1 入社した現在の率直な気持ち

問 Q2 大学時代に学んでいたこと

Q3 座右の銘

Q4 好きなこと・マイブーム

Q5 これまでの人生で最高の瞬間

Q6 今後の抱負

こにし ひであき

小西 秀明 さん

埼玉県 越谷市 出身



Q1 前職が同業種だったので、その経験をいかしつつ、気持ちを新たに仕事に取り組んでいきたいです。

Q2 大学 4 年～修士卒までの 3 年間、燃料電池などの電気化学分野に携わっていました。

Q3 「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」米沢の人からすればベタな言葉ですね。

Q4 子どもとお風呂に入ることです。多くの話を伝えようとする姿に、成長を感じます。

Q5 子どもが生まれたときです。

Q6 大きな抱負は環境計量士の習得ですが、まずは今の環境に早く慣れ、求められている職務をこなせるようになりたいです。



おぐら けいこ

小椋 景子 さん

山形県 米沢市 出身



Q1 心機一転、新しい環境で頑張りたいと思います。

Q2 農学部農芸化学科生物科学研究室で、ブタの肝臓 microsome の脂質の分析を行っていました。

Q3 「継続は力なり」「和顔愛語」

Q4 音楽鑑賞(ピアノ曲、吹奏楽、オーケストラなど何でも)が好きです。それと健康のためにおから料理と甘酒を飲むことがマイブームです。

Q5 子どもを出産したときです。これに勝る瞬間はありません。

Q6 仕事においてまだまだ覚えることが多いので、まずはしっかりと習得していきたいと思っています。



社員コラム

Vol.12

吉村麻里のカラー分析

私は以前「カラーコンサルタント」をやっていました。その人に合った色(パーソナルカラー)を分析・紹介する仕事です。

人の第一印象は半分以上が視覚情報から決まり、わずか 7 秒から 30 秒でイメージが定着してしまいます。最初に悪いイメージを与えてしまうと、挽回は非常に困難です。「すみません、私こんなじゃないんです。もっといいやつですよー。」と 365 日言い続けても、相手には「そんなに悪い人ではないよね。」くらいにしか思われなとか…。見た目ってとても大事なんです。

そして「見た目」の印象は、70%は身につけている「色」で決まるといわれています。似合う色を身につければ、肌が映えて、健康的で若々しくみられ、似合わない色を身につければ、肌がくすみ、顔色が悪くみられたり、老けてみられたりします。色の選択次第で「10歳若くみえる」「10歳老けてみえる」、なんと 20歳の年齢差が出てしまう…。恐ろしいことです。パーソナルカラーを把握することは大事なことです。

パーソナルカラーは、その人の肌のベース色や瞳・髪の色などによって「spring-春」「summer-夏」「autumn-秋」「winter-冬」の 4 つのタイプに分けられます。ドレープという布を使い、その人のシーズンタイプを見つけます。ここで重要なのは「好きな色」と「似合う色」は必ずしも一致しないということです。

とはいえ「好きな色」を着ていけない決まりなんてないですし、むしろその色を着倒す勢いも「いいね!」と私は思います。これらの要素に、健康な肉体と健やかな心が合わさることで、その人の「いきいきとした表情」がつけられると私は信じています。





平成30年度 社員研修 @ 千葉～東京

毎年恒例となりつつある、社内研修旅行に本年度も行ってきました。今回の目的地は千葉県、研修先は「中外テクノス株式会社 関東環境技術センター」様です。

中外テクノス様は、広島の本社を中心に全国各地で環境事業全般を手掛ける大企業です。弊社設立当初から、分析や測定に関する様々なご助言・ご協力をいただいております、弊社にとって「先生」といえるような存在です。（実際に弊社設立当初、弊社の武田が研修としてお邪魔し、様々なことを学んできました。）

今回は各地にあるラボのなかでも、最も弊社とのやり取りが多い「関東環境技術センター」様（千葉市）との直接交流が実現し、弊社主要メンバーで見学・研修をし、多くのことを学んできました。



まず驚いたのは、分析に使用するスペースの広さです。複数フロアにまたがり各部門ごとの分析室があるのですが、1部門の分析室だけで、弊社の全分析スペースを超える広さを有している所もありました。当然、検体の量や分析者の数も非常に多く、各部門で効率的に分析が回る工夫や仕組みが確立されていました。

また各所の整理整頓が行き届いており、非常に「きれい」な部屋が大半を占めていました。整理整頓の励行は、作業の効率化が図れることはもちろん、薬品や器具管理の効率化、器具破損や分析中の事故の低減、人員配置の最適化、納期管理の徹底など、多くのメリットがあるということで、数年に渡り改革したそうです。

まさに目からうろこが落ちるような工夫もみられ、弊社一同「なるほどな」という思いでした。整理整頓に関しては、弊社でもすぐに取り入れられそうな部分も多く、分析室でどのようにマネしようか画策しているところです。

各分析担当者同士、顔を合わせて話のできたので、電話や文面では中々出てこない話題に触れることもできました。それぞれ得るものが多く、また弊社の課題もあわせて確認することができた、実りの多い研修となりました。



旅の思い出

研修後は東京にて、はとバスツアーに参加。夕食は東京帝国ホテルのバイキングで満腹に。2日目は各員自由行動で、それぞれ関東圏を堪能。とても楽しい旅となりました。

